

食と文化で市民が交流

食と文化の市民まつりを開催

文化の秋、食欲の秋を満喫しながら、市民の交流を図ってもらおうと、「食と文化の市民まつり」（同実行委員会主催）が十月二十六日・二十七日の両日、緑地域で行われました。

二十七日には、淡路ふれあい公園で、地元の団体や島外のプロ歌手などによる舞台発表と、地元食材を使った加工品や料理の販売、老人クラブによる餅つきとパンづくり体験など盛りだくさんに行われました。あいにくの小雨模様にも関わらず四千人が訪れ、にぎわいました。



▲カラオケ発表（前夜祭）



▲大村崑さんとの記念撮影会

▲倭文中学校「白龍」

▲老人クラブによるパンづくり体験

農業後継者育成を図る

大学生の農業体験



▲レタスを収穫する学生たち

南あわじ市では、農業後継者の育成を図ろうと、今年度から大学生の農業体験受入事業を実施しています。十一月九日、兵庫県立大学で経済や経営を専攻する学生三十一人が、南あわじ市を訪れ、レタスの収穫体験や玉葱植え体験などをしました。

また、農家や市職員から、安全でおいしい栽培方法や南あわじ市の農業概要等の講話も行われ、学生らは合間に質問をしてメモを取りながら、熱心に学んでいました。この後、野菜ソムリエの金山京子さんが、収穫した食材を使った料理を学生に紹介しました。学生は「格別の味でした。また現場からの生の話が聞けて、大変有意義でした。改めて南あわじ市へ訪れたい」と話していました。

「ため池」の役割を広める

ため池教室を開催

約二千五百もの「ため池」を持つ南あわじ市では、市内の子どもたちに、ため池について理解を深めてもらうべく、十月二十四日、三原志知小学校三・六年生、三十一日八木小学校三・四年生を対象に、兵庫県と共催で「ため池教室」を開催しました。

「ため池」について講話しました。また、子どもたちが被害者となる、ため池での水難事故が全国で多発していることにも触れ、「子どもだけで絶対ため池に行ってはいけません」と注意を呼びかけました。



▲県や市の職員の話熱心に聞く子どもたち

技能功労者を表彰

永年優れた技能で、地域社会の発展に貢献した方の功績を讃える「南あわじ市技能功労者表彰式」が十一月二十三日、三原市民センターで行われ、次の方々に市長から表彰楯が手渡されました。

- 勉（志知、建具職）、大江勝（阿那賀、自動車整備士）、岡孝司（榎列、自動車整備士）、吉川卓爾（神代、理容師）、岩本逸雄（広田、電気工事士）、瀧川昌弘（賀集、大工）、森健（榎列、大工）、名主川清安（賀集、造園師）、野尻昭長（北阿万、印刷工）、雨堤義雄（津井、製瓦）、的場輝之（北阿万、理容師）、中本光義（榎列、造園師）

新しい兄弟と共同生活

通学合宿



▲新しい仲間と班別活動に取り組む子どもたち

市内の子どもたちに長期間の共同生活を通じて、自主性や協調性などを養ってもらおうと、わくわくステイ実行委員会では、「通学合宿わくわくステイ」を十一月十日～十八日まで、八泊九日の日程で国立淡路青少年交流の家（阿万）で行いました。小中学生三十一人と高校生リーダー四人、青年リーダー十二人の総勢四十七人の共同生活では、様々な体験活動が行われ、新しい兄弟姉妹との思い出を作っていました。

車いす2台

「ご寄付ありがとうございました」

体の不自由な人に役立ててくださると、市に車椅子が寄贈されました。

十一月一日、緑庁舎で前川英明さん（阿万）から川野四朗副市長に車椅子二台と目録が渡されました。



▲川野副市長に目録を手渡す前川さん（右）

故永田秀次郎氏を偲ぶ書籍

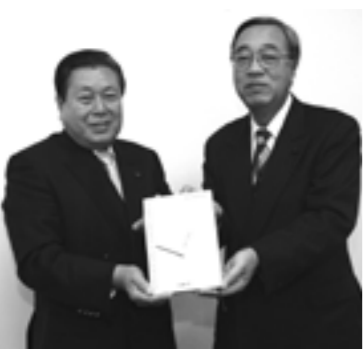
拓殖大学創立百年を記念して出版された書籍「永田秀次郎―自然体の伝道者」四冊を、孫の永田秀一さん（倭文）が、南あわじ市に寄贈。十月二十六日、中田市長に渡されました。

この本は、永田氏が拓殖大学で第四代学長として指導した時代の論考や紀行などを中心に収録しています。市内の図書館に収蔵し、閲覧、貸し出しができます。

「淡路人形会館」建設費

このほど、洲本市在住の辻本ちよ子さんから「淡路人形会館建設費の一部にお使いください」と南あわじ市へ多額のご寄付をいただきました。

今回のご寄付は日頃から淡路人形を愛し、生前も淡路人形協会理事として多方面から応援していただいていた（有）うづ志ほ名産店代表の故辻本



▲中田市長に書籍を寄贈される永田さん（右）